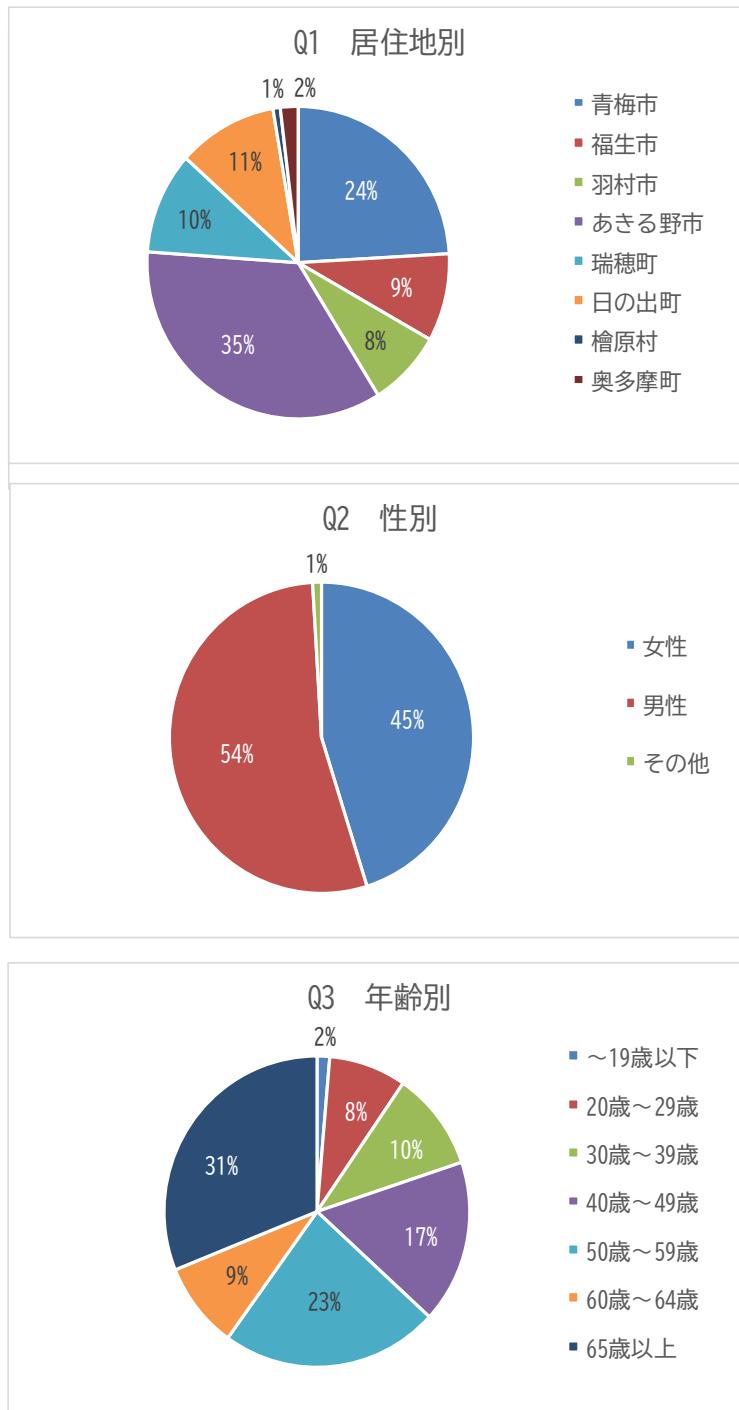


公共施設の広域利用に関するニーズ調査 調査結果

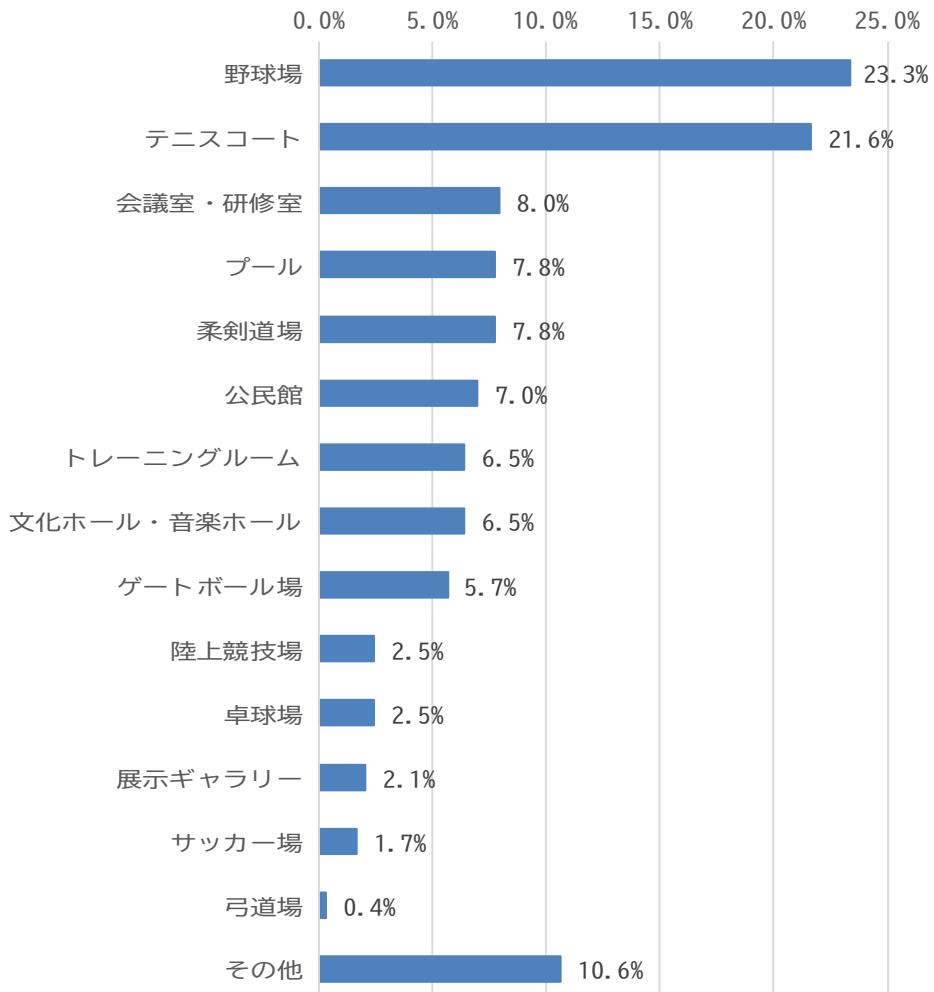
【調査期間】令和7（2025）年9月2日～同年11月30日

【調査方法】WEBおよび紙調査票による調査

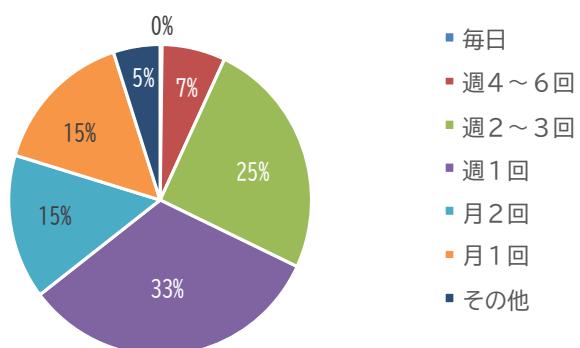
【調査対象】西多摩地域の住民（回答数：527件）



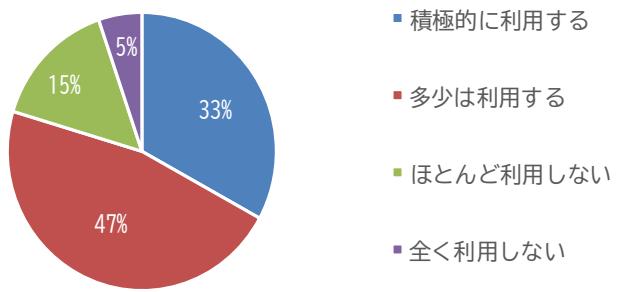
Q4 よく利用する公共施設（複数回答可） n=527



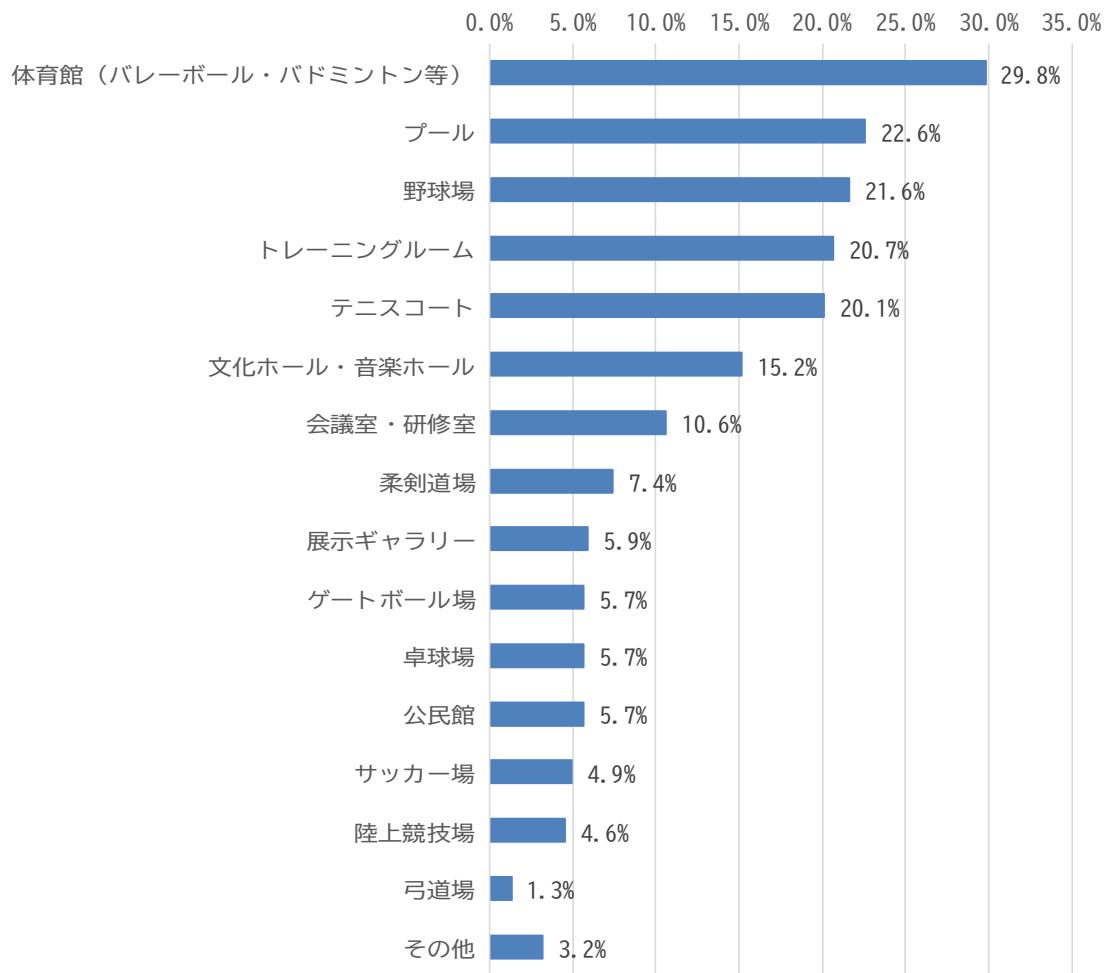
Q5 よく利用する公共施設の利用頻度



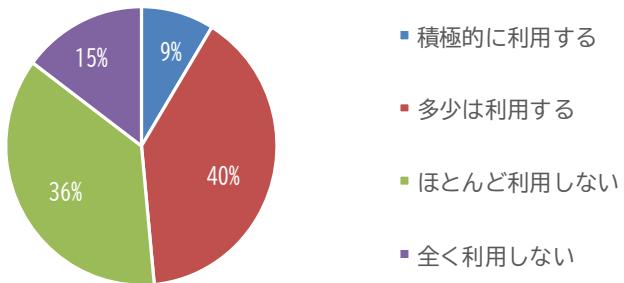
Q6 公共施設が広域利用化された場合にどの程度利用するか



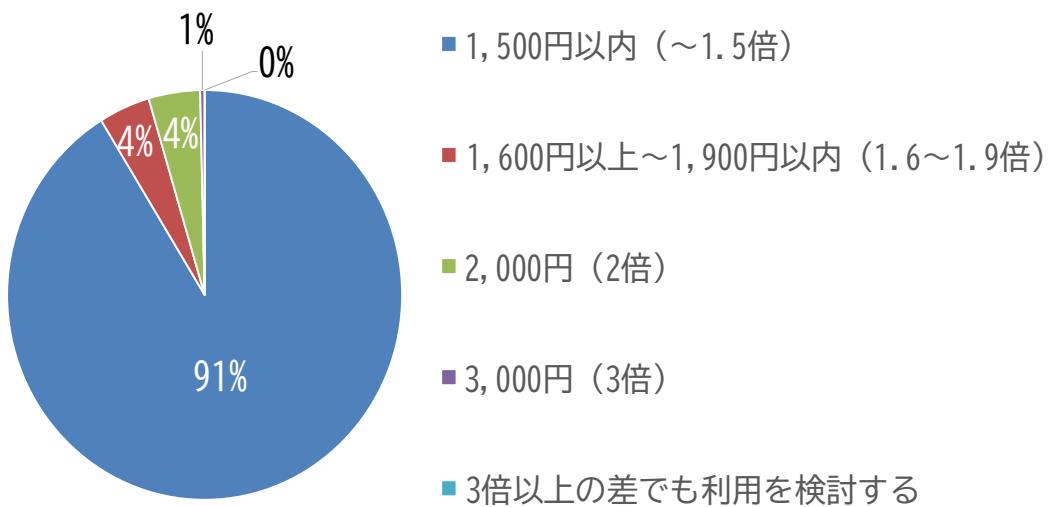
Q7 広域利用化してほしい公共施設（複数回答可）n=527



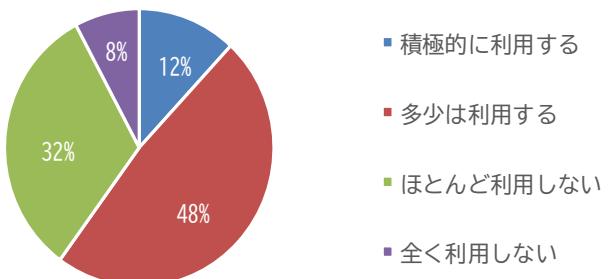
Q8 他市町村住民の利用料金が高い場合に
どの程度利用するか



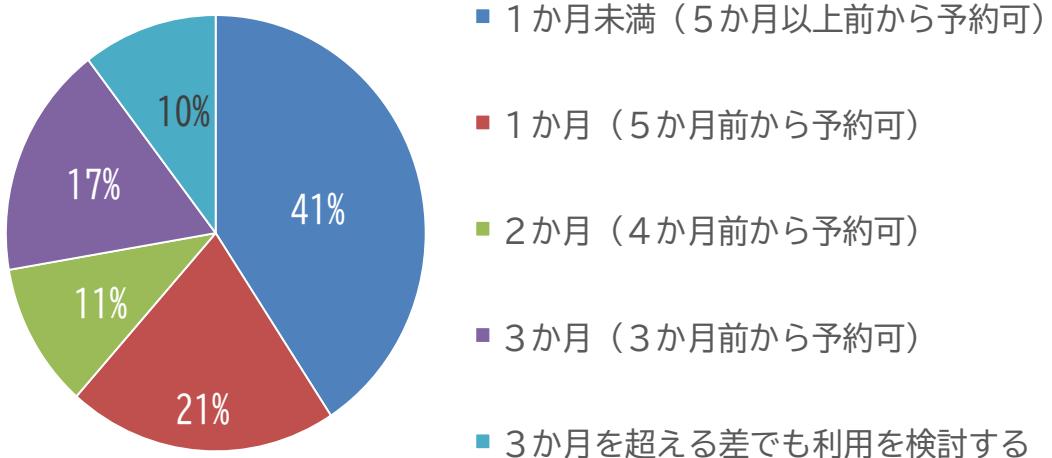
Q9 利用したいと思う利用料金の上限
(居住地住民の利用料金を1,000円とした場合)



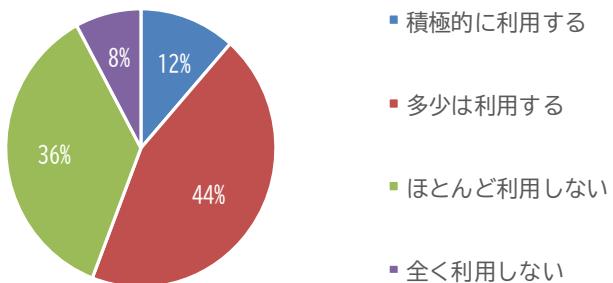
Q10 他市町村住民の予約可能時期に差をつ
けている場合にどの程度利用するか



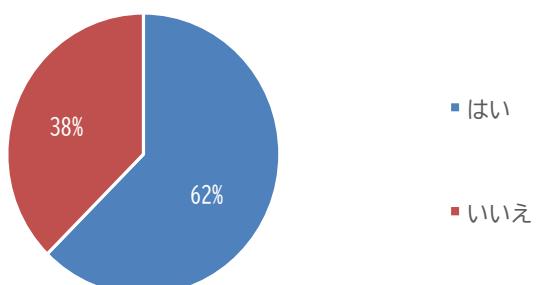
Q11 利用したいと思う予約可能時期の差
(居住地住民の予約可能時期を6か月前とした場合)



Q12 自身の自治体と予約システムや予約方法が異なる場合にどの程度利用するか



Q13 他自治体の公共施設を利用したことがあるか



Q14① 利用した他自治体の公共施設はどこの自治体か

青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、東京都
八王子市、立川市、町田市、国立市、国分寺市、小平市、小金井市、武蔵村山市
日野市、昭島市、埼玉県入間市、埼玉県飯能市、埼玉県戸田市、神奈川県横浜市

Q14② 利用した他自治体の公共施設はどのような施設か

図書館、野球場（ソフトボール場）、体育館、テニスコート、卓球場、文化ホール、
温水プール、弓道場、トレーニングルーム、温泉施設、公民館

Q15 公共施設の広域利用に関する主な御意見・御提案等

- ・広域連携を進める・検討する前に、市内の老朽化した施設を修繕してほしい（2件）。
- ・財政的に少しでも公共施設の数を減らして支出削減するよう取り組んでほしい。
- ・野球場などのように、施設数が少ないものは市民優先にしてほしい。図書館の広域利用に比べて取り合いになってしまふ可能性が高そうなので、便利になった分市民が不満にならないように考慮していただきたい。
- ・市内の生活圏内にあるべき施設と、少し距離があっても相互利用するのが望ましい施設と、自治体間で方向性を共有して、効率的な施設配置を検討していただきたい。相互利用を進めれば公共施設のスリム化が期待できる一方、交通手段が課題になる。各自治体のコミュニティバスや福祉バスの相互乗り入れもあわせて調整すべき課題。利用申込みは電子申請を原則とするのがよい。同一のシステムでスムーズに相互利用できる環境整備をしていただきたい。
- ・便利さでは居住自治体の公共施設が最も便利なので、広域利用ができるからといって居住自治体が公共施設を減らすことはあってはならない。他自治体の良い取り組みを参考に充実させてほしい。
- ・各市町村に残してほしい小規模な施設と、車や公共交通機関で30～40分以内にアクセスできる距離感にあれば十分な中規模な施設、8市町村が協力しないと実現しない大規模な施設の区分案を検討して、地域住民なども参画して、最終的な役割分担を決めて、広域な施設運営を進めていくと無駄な税金を使わずに済むと感じる。あと、個人的には羽村市の動物公園は西多摩の大切な観光施設として、いつまでも維持してほしい。

Q15 公共施設の広域利用に関する主な御意見・御提案等（続き）

- ・住んでいる市区町村毎に特色ある施設を持っているので、有効活用できるなら広域利用を促進するべき。特に、市内に音楽ホールがないので、他自治体の音楽ホールが対象の施設になると嬉しい。
- ・公共施設は各自治体の財政を圧迫しているため、広域利用を推進し、廃止を進めるべき。自治体ごとに、運営審議会などがあるものもあるが、広域組織とすることでの会自体の発展にもつながる。
- ・広域利用化の目的の一つは、人口減社会に対応した公共施設の選別・集約だと考える。公共施設のサービスとしては変わらず、単に想定利用者の枠を拡大していく（より広い地域の住民でその施設を利用する）試みなので、利用対象者の地域によらず利用料金や予約方法は共通であるべき。一方、受益者負担の理屈として、利用料金は適宜値上げなど見直ししていく方が良い。また、より広い地域からアクセス可能になるような交通手段の新規整備も併せて必須。
- ・8市町村内で広域利用が「できる」「できます」はすべて平等に利用できることが広域連携の第一歩と考える。webで予約できても所有場所の住民が優先されなければ実質的に他地域の人はほぼ利用できない。一律に当地の住民優先ではなく、一部の枠については平等であることが望まれる。
- ・なるべくその市の住民との差異化をしてほしい。該当施設の抽選には市民しかできなくて、空いていたら他地域の市民が使えるようにして一律解放は避けてほしい。
- ・各自治体がもっと積極的に他の自治体の住民に利用方法、使用料金を告知すべき。
- ・西多摩地域の市町村間で利用料金の差があるので、利用料金が安い自治体に予約が集中し、地元住民が使えないことが問題。予約・抽選は在住・在勤・在学を優先としてほしい。会議室・研修室の広域利用は必要ない。
- ・西多摩温泉施設利用料を統一料金にしてほしい。